

◆避難情報の意味

警戒レベル4 避難指示(緊急)

危険が迫っています。直ちに緊急安全確保を！
避難所への避難が難しい場合は、**建物の2階に緊急退避！**

直ちに避難を《終了》

警戒レベル4 避難勧告

基本的に安全を確保できる場所へ**全員避難**

全員避難を《開始》



警戒レベル3 避難準備 高齢者等避難開始

高齢者など避難に時間を要する人は避難し、要援護者避難支援をする人は行動開始
その他の人は避難の準備を

避難の《準備》



*令和3年梅雨期に運用変更予定有

自主避難所の開設

夜間の避難が不安な方を対象に早めの自主避難を呼びかけます。

豊岡市防災課

〈地域から犠牲者を出さないため、基本的な考え方を共有してください〉

風水害の場合、事前に防災マップで自分の住んでいる地域の危険の特性を確認していただき、自分が逃げるべき人なのか留まるべき人なのか、また、避難する場合はどこに避難し、避難経路に危険箇所がないか等を確認しておきましょう。

1. 自宅周囲の道路が冠水するまでに避難することが大原則。避難しようとしたが周囲が冠水して避難できなかったというのは「手遅れ」であるということをご認識してください。
2. 避難先は指定緊急避難場所だけではありません。家族や友人、ホテルなど、多様な避難先を選択肢として持っておいて下さい。
3. 例え自宅が浸水したとしても、2階で避難生活がおくれるよう必要なものを備えておいて下さい。
4. 避難行動要援護者の個別支援計画は、まず支援者自身の命、支援者のご家族の命の安全が確保されて初めて取り組まれることに留意してください。あくまで地域の共助というボランティアの心に支えられた取り組みです。できる範囲での支援をお願いします。
5. 避難行動要援護者の避難支援は地域がすべて行わなければならないものではありません。要援護者自身やその家族を通じ、活用可能な人的資源等（家族、知人、普段利用している福祉サービス等）を活用できない場合に支援をいただきたいという考え方です。
6. 私たちがお願いしていることは、地域から一人の犠牲者も出さない、という防災です。「命を守ること」を前提とした取り組みをお願いします。



NPO法人わいわいみ・な・み

水害時避難マニュアル 2020



台風など災害時に命を守るための行動を、どうとるのか、地区のみんなで考えたマニュアルです。

まず命を守る行動を、実行するのは自分や家族(自助)です。同時に近隣の人との助け合い(共助)が必要になります。

門谷区・河内区・御又区エリア

台風など水害に対する防災行動



台風発生

台風発生は、南方の海上沖から、到着まで数日かかるので、情報をしっかり確認する

3~4日前

台風の大きさや雨量などの情報を確認し、避難先(親族や友人、介護事業所等)と連絡を取り合い避難用品の準備、食料以外にも持病の薬などを忘れずに用意する

2日前

市の防災無線などの情報も参考にして、区で以前から相談して決めていた、家族や親戚、介護施設へ台風が来る前に避難する
迷う時は、近所や区長と相談して決めるのも大切

当日

避難所や、近くの友人宅などへ避難する場合は、明るいうちに避難、自宅の2階へ避難する場合は、山側の部屋を避けて、安全な場所で過ごす

門谷・河内・御又の避難、対策マニュアル

このような人は、こうして対応

1人暮らしの人

河内の人は、子どもの所へ行く人は区長が連絡し早めに避難できるように迎えにきてもらう

障害・病気の人がある世帯

御又の人は、周りが判断支援して、家族の所へ避難してもらうが、間に合わなければ区が支援してコミュニティセンターへ避難し、自宅なら山と反対の2階の部屋に

元気な高齢者

河内の人は、自宅2階の山と反対の部屋に避難

門谷の人は、早めに近くの親戚へ避難

御又の人は、自宅なら山と反対側の2階の部屋に

日中独居

門谷の人は、区長が早めに家族へ連絡するが、間に合わないときは区で支援して避難

御又の人は、家族へ連絡して早い段階で避難してもらう。間に合わなければ区へ相談してもらい明るうちの避難支援する

【非常持ち出し用品】

- ・食料品
パックご飯、缶詰、インスタントラーメン、缶パン、ビスケット、赤ちゃんのいる家庭は粉ミルク、水
- ・衣類
肌着、靴下、毛布、レインコート、タオルなど
- ・救急用品
絆創膏、消毒薬、シップ、高齢者や持病のある人は薬

など



- ・道具類
懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、ガムテープ、携帯電話充電器など

このような場合は、こうして対応

河川の氾濫



門谷の下隣保は、氾濫に備えて会館へ避難するが、間に合わなければ安全を確認できるまで垂直避難

河内区の人、川が氾濫しそうなら区の上側の人は山側の安全な部屋に避難し、下側の人は出来るだけ早めに南小学校へ避難

土砂災害



御又の人は、山からの谷水土石が流れてくる前に、避難し、暗くなってからは動かない。避難は、コミュニティセンターか、小学校へ区の会館は土石流が来るので使わない



3区共通の準備 取り組み

普段から家族の連絡先・連絡方法を確認し、連絡網の作成をしておく

【避難所(コミュニティセンター、クリーンパーク)について】

・台風接近時は、大雨が降り始める前に南地区コミュニティセンター、クリーンパーク北但(坊岡)に避難所が開設されます。

川の水位が上昇し、道路に水が溢れている状態や夜暗くなってからの避難は、大変危険です。

豪雨や長雨が続き、木が流れたり土臭い臭いがする、斜面から何かが落ちてくるなど、いつもと違うときは、早めに避難しましょう。

不安を感じたときが避難をするタイミングです。

***避難所には緊急の非常食と水が用意されていますが、アレルギーや体質、病気に食料に対応していないので、各自で必要な食料など用意して下さい。**